

## 新春歌舞伎&新年会のご案内

恒例の初春歌舞伎のご案内です。

記

【日時】2020年1月18日(土) 12:00 開演

【集合】11時30分 国立劇場ロビー

【料金】5000円(税込、2等A席)

【演目】菊一座令和仇討

【出演】尾上菊五郎/尾上菊之介/中村時蔵

お席は確保しています。



演目は、四世鶴屋南北の「御国入曾我中村」を現代風にアレンジし、初春らしく華やかな形にしたとのこと。

(^^) 新春会は、「楼外楼新宿」です。詳細はハガキに。

## LINE、Facebook 参加法

### ● LINE グループ参加方法：右の図参照

既にグループのメンバーになっている人から招待してもらう。グループメンバーは、以下の方法で、ご自身の「友だち」をグループに招待してください。

①グループのトーク画面を開き、右上の横三本線をタップ

②「メンバー・招待」をタップ

③「友だちの招待」をタップ

④女性白門会グループに招待したい友だちを選択し、右上の「招待」をタップ

※お使いの機種により操作方法が若干異なります。

※LINE上で「友だち」になっている人しか招待できません。

## 女性白門会入会のご案内

下記担当者(幹事長)まで、電話かFAXでお問い合わせの上、またはホームページ上から入会申込書をダウンロードして、お申し込みください。

編集工房 球  
針谷順子

TEL / FAX 03-3205-6315

\* FAX 番号が変わりました。

◆年会費 4000円

● Facebook は、検索バーに「女性白門会」と入力し、「フォローする」をクリック。

※ Facebook に登録する必要があります。



中央大学女性白門会ニューズレター

2019年冬号(2019年12月5日発行)

# 女性白門会

## 2019年もお疲れさまでした。

本年も12月を迎え、残りわずかとなりました。相次ぐ台風の来襲や豪雨によって、温暖化の影響を強く感じた秋でした。被害にあわれた方には心からお見舞い申し上げます。

女性白門会では、10月24日に東京弁護士会副会長の川村百合先生による講演会、11月16日には恒例のウイングの会を開催いたしました。また講演会に先立ち、「女性学員の参加を促すためには？」の検討会も開催し、そこでは、LINEやFacebookの活用、ホームページの充実などのご意見をうかがいました。早速その場にいる参加者たちでLINEを立ち上げました。LINEをされている方、ぜひご参加ください。Facebookは稼働すべく準備中です。ホームページは充実するように体勢を整えます。

今後の予定では、1月18日に歌舞伎鑑賞と新年会、3月14日にはちょっと趣向を変えて、お茶の会をしたいと考えています。お茶の歴史を学び、作法を学びたいと思っています。というのもお茶の世界でも活躍されている學員が多くいることを知ったからです。さらに当会には茶道の専門家や、茶道部に所属されていた方もいます。楽しみにお待ちしております。

私は3月末に退職しましたが、この様々な問題が起きている政治情勢から、取材を受けることが多くなりました。あいちトリエンナーレの問題、天皇の大嘗祭の政教分離原則との関係、

相次ぐ閣僚の辞任、さくらを見る会の問題などです。

憲法研究者としては、立憲主義に則り、憲法を守るということを、そのことはすなわち人権を保障し、まっとうな政治をするということ、それを望みたいと思います。

日本で生産年齢人口の女性の就業率は69.6%で、女性の非正規雇用の割合は56.1%と上昇しています。M字カーブの底は浅くなったといわれますが、第一子出産で職を辞す女性が多いことは事実です。賃金格差は男性を100とすると、女性は73.3、ちなみにフランスは84.2。日本では女性の非正規雇用が賃金格差を広げているとされますが、フランスでは管理職に女性が少ないことが格差の原因とされています。フランスでの女性の管理的職業従事者32.9%に対し、日本は14.9%にすぎません。

ウイングの会でも講師の金子先生はどんどん総合職に挑戦してください、と檄を飛ばしていました。女性が男性と平等に暮らせる、幸せを感じる社会を創っていかねばいけない、と感じています。

(会長・支部長 植野妙実子〈中央大学名誉教授〉)



## 2019年総会報告

本年7月20日(土) ビストロ備前にて。

### ★報告事項

#### ●2018年度活動報告

① 総会・50周年記念懇親会:7月21日、「山の上ホテル」にて

② 講演会:11月24日、駿河台記念館にて、弁護士渥美雅子氏を講師に迎えた。終了後お茶の水の「楽蔵」にて懇親会。

③ ウィングの会:12月1日、多摩校舎にて。終了後立川・随園別館にて懇親会

④ 新春歌舞伎鑑賞会:2019年1月12日、国立劇場にて「姫路城音菊礎石」を鑑賞、終了後「楼外楼飯店新宿店」にて新年会。

⑤ 植野妙実子会長・支部長最終講義&記念パーティー:1月25日後楽園校舎にて。3月末日で退任される植野会長が研究足跡を講義。その後記念パーティー開催。

⑥ 勉強会:3月2日、駿河台記念館にて。福島県立医科大学教授藤野美都子氏により「福島原発事故から8年福島の今」と題し勉強会を開催。終了後、「嘉賓御茶ノ水店」にて懇親会。

●大学の事業報告  
国際経営学部、国際情報学部の新設、法学部の都心展開について

#### ●大学活動報告

植野会長が学員会の副会長に就任。学員会の女性割合が少ない、当会として問題提起・提言を出す。



●その他報告 現在の会員数は約160名。

### ★審議事項

●予算、決算 別紙参照。

#### ●2019年度活動計画

総会、講演会10月/3月、ウィングの会、歌舞伎鑑賞/新年会を開催予定。

#### ●その他

HCデー9月29日に後楽園校舎にて、理工学部創立70周年記念と合わせて開催。

2代目会長の市橋千鶴子氏、会員の慶野弘子氏の訃報に全員で黙とうを捧げた。

千葉景子氏の叙勲を祝う会の報告。

総会後終了後、ビストロ備前にて懇親会。開催に大学から理事長大村雅彦氏をお迎えし、宇田川濱江氏の乾杯により、美味しい食事と和やかな歓談となった。

恒例のミニコンサートは中大古典ギタークラブの皆さんにより、「花は咲く」「ハナミズキ」などやギターの名曲「禁じられた遊び」の演奏を楽しんだ。(金沢恭子)

## 講演会「児童虐待と子どもの人権保障」

10月24日中央大学駿河台記念館において、東京弁護士会副会長の川村百合先生の「児童虐待と子どもの人権保障」と題する講演会を開催した。

全国の児童相談所が、児童虐待の相談を受けた件数は増加し続け、2018年には15万9805件にのぼり、過去最高となった。虐待に関する痛ましい事件を耳にする事も多くなったが、2017年4月1日から2018年3月31日までに発生または表面化した事例のうち、虐待死が52人、そのうち0歳児が最も多く28人となっている。

川村先生は、子どもを単なる保護の対象と見ず、子どもに固有の人権があることを認識すべきとされた。その人権とは、成長発達権、意見表明権、保護を受ける権利などである。いみじくもそのことは、児童福

祉法1条が示している。そしてそこには子どもの権利条約についての言及もある。

虐待を生む家庭は様々で、「典型」はない。虐待を受けた子どもは心身の発達にダメージを受け、非行に走る子どももいる。虐待により、自己肯定感がもてない、自分を傷つけ他人も傷つける(自傷他害)という傾向もでる。

児童福祉行政に関しては人的・物的資源が不足していることもあって、適切に保護されない子どもたちが存在する。川村先生たちは、現状を打開するために、民間の子どものためのシェルター、カリヨン子どもセンターを立ち上げ、活動されている。

あらためて問題解決の難しさを知った。当会においてはこの問題に関心が高く、出席者も多かった。(植野妙実子)

## 第25回 WING の会「女子学生応援セミナー」

11月16日(土)、毎年恒例の「女子学生応援セミナー」が、女性白門会と中央大学キャリアセンター共催で開催された。

第I部では、外資大手総合人材サービス会社であるランスタッド取締役、金子久子氏に「ガールズ、ビーアンビシャス!~人生100年時代の女性のキャリア~」と題して、専業主婦、パート、派遣社員から会社役員にいたるまで、これまでに経験された多様な職種から、ライフイベントの多い女子のキャリア形成についてお話いただいた。

第II部では、日本航空、富士通、都庁に内定している女子学生3名が登壇し、「すべて語ります!私の就活話!」というパネルディスカッションで大いに盛り上がった。

令和3年の卒業生から就活ルールが崩れ

るかもと騒がれているからか、参加者48名の多くが1、2年生だったことは、昨年にはない動きだ。

「中央大学は4年間だけではない。卒業しても色々な形で大学、そして社会と関わられるコミュニティーである」女性白門会について、少しは理解いただけたか…兎に角、悔いのない就活を全うして欲しいとする先輩OGの心意気は伝わったのではないかと思う。(五十嵐星汝)

